

# 令和3年度 数字で見る決算

問い合わせ 経営企画課 財政係(☎内線502・503) 上下水道課 ☎(408)4024  
ページID:2371

## 決算のポイント!

- 実質収支……………約21億4千万円の黒字
- ふるさと納税受入額……………倍増し約9億円超を達成
- 市税収入……………積極的コロナ対策で微減に抑制
- 基金(貯金)残高……………過去最高の約57億円
- 市債(借金)残高……………4年連続で減少
- 財政分析……………経常収支比率が大幅に改善
- 新型コロナウイルス感染症対策……………約11億7千万円

令和3年度の決算が、9月議会で認定を受けましたので、概要をお知らせします。  
詳しい情報は、ホームページにも掲載しています。

※表の数値は、四捨五入の関係上合計が合わないことがあります。表中の▲はマイナスを示します。

## 会計別決算状況

(単位:千円)

会計名		① 歳入総額	② 歳出総額	③ 差引額 ① - ②	④ 翌年度へ繰り 越すべき財源	実質収支額 ③ - ④	
一般会計		30,645,721	28,166,763	2,478,958	345,425	2,133,533	
特別 会計	国民健康保険事業	7,153,816	7,032,898	120,918	0	120,918	
	後期高齢者医療	1,353,359	1,308,890	44,469	0	44,469	
	介護保険 事業	保険事業勘定	5,515,737	5,406,922	108,815	0	108,815
		介護サービス事業勘定	59,096	59,096	0	0	0
	住宅新築資金等貸付事業	5,986	3,397	2,589	0	2,589	

※端数処理は、決算書における実質収支に関する調書と同じようにしています。

### よく分かる!用語集①

- **一般会計**  
地方公共団体の行政を運営するための基本的な経費を計上した会計。
- **特別会計**  
一般会計の収入・支出と区別して個別に処理する会計。特定の収入を特定の支出に充てます。
- **普通会計**  
(一般会計) + (特別会計の一部) = (普通会計)  
他自治体と比較しやすいように設けられた会計。総務省の基準により、会計間の重複を控除するなど調整をします。
- **翌年度へ繰り越すべき財源**  
令和3年度事業を令和4年度に繰り越して行う場合に必要なお金。
- **実質収支**  
(歳入総額) - (歳出総額 + 翌年度へ繰り越すべき財源) = (実質収支)  
この額が翌年度の繰越金となります。
- **企業会計**  
独立採算を基本として運営する会計。
- **収益的収支**  
料金を主とする収入と、その収益を上げるために必要な管理費や固定資産に係る減価償却費などの支出を計上した収支。
- **資本的収支**  
サービスの提供を維持・拡大するための施設の建設改良費や償還金(借入金の返済)などの支出と、それに要する財源としての企業債(借入金)や補助金などの収入を計上した収支。
- **損益勘定留保資金**  
収益的支出のうち、現金の支出を必要としない費用(減価償却費など)に充てられた資金。

## 普通会計

令和3年度決算額は、歳入306億5,144万3千円、歳出281億6,989万6千円で、前年度比で歳入が35億8,491万4千円の減、歳出が46億9,325万1千円の減となりました。

歳入歳出差引額は24億8,154万7千円で、これから令和4年度に繰り越すべき財源3億4,542万6千円を差し引いた実質収支は21億3,612万1千円の黒字決算とすることができました。

※本市の令和3年度普通会計は、一般会計、住宅新築資金等貸付事業特別会計です。

### 普通会計決算

(単位:千円)

区 分	令和3年度(A)	令和2年度(B)	前年度比較(A)-(B)
歳入総額 ①	30,651,443	34,236,357	▲ 3,584,914
歳出総額 ②	28,169,896	32,863,147	▲ 4,693,251
歳入歳出差引額 ①-② ③	2,481,547	1,373,210	1,108,337
翌年度へ繰り越すべき財源 ④	345,426	82,113	263,313
実質収支 ③-④	2,136,121	1,291,097	845,024
単年度収支	845,024	710,342	134,682
実質単年度収支	874,781	512,840	361,941

## 企業会計

水道事業・下水道事業ともに健全な経営を維持しています。

### 水道事業会計

令和3年度は加入負担金の増加により収入総額が増加し、当年度純利益は2億3,740万8千円(消費税抜き)でした。収益的収支・資本的収支は下表のとおりです。

年度末の給水人口は6万716人(前年度比109人増)となり、年度末の行政人口に対する普及率は84.8%(前年度比0.3%増)となりました。

#### 収益的収支 (消費税抜き、単位:千円)

収 入	1,402,287
支 出	1,164,879

収支差引による純利益は、資本的収支不足額を補うための財源としています。

#### 資本的収支 (消費税込み、単位:千円)

収 入	4,372
支 出	351,544

資本的収支で生じる不足額は、損益勘定留保金などで補てんしました。

### 下水道事業会計

令和3年度は資産減耗費の減少により支出総額が減少し、当年度純利益は4億8,122万5千円(消費税抜き)でした。収益的収支・資本的収支は下表のとおりです。

年度末企業債未償還残高は53億2,556万6千円(前年度比5億3,518万7千円減)でした。

年度末の水洗化人口は6万9,727人(前年度比84人減)で水洗化人口普及率は97.4%(前年度比0.1%増)となりました。

#### 収益的収支 (消費税抜き、単位:千円)

収 入	1,815,546
支 出	1,334,321

#### 資本的収支 (消費税込み、単位:千円)

収 入	196,181
支 出	842,996

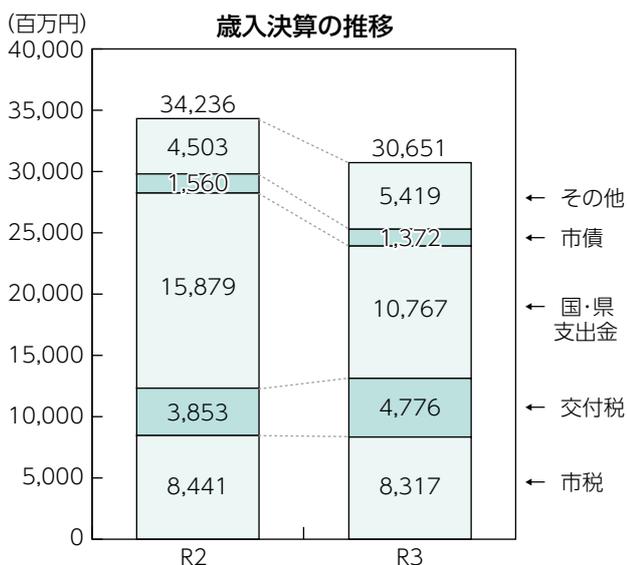
# 普通会計の概要

## 歳入

普通交付税や地方消費税交付金、ふるさと納税などが増加するも、国庫支出金の大幅減により歳入全体は約35億8,500万円の減となりました。

令和2年度の特別定額給付金事業が大きく影響し国庫支出金は大幅に減額しましたが、普通交付税や地方消費税交付金などが増加しました。また、ふるさと納税の返礼品拡充など積極的な取り組みにより、寄附金は令和2年度比倍増の9億円を超えるまでに至りました。

市税は新型コロナウイルス感染症対策や経済活性化対策を積極的に実行し、減少幅を微減にとどめることができました。



歳入内訳 (単位:百万円)

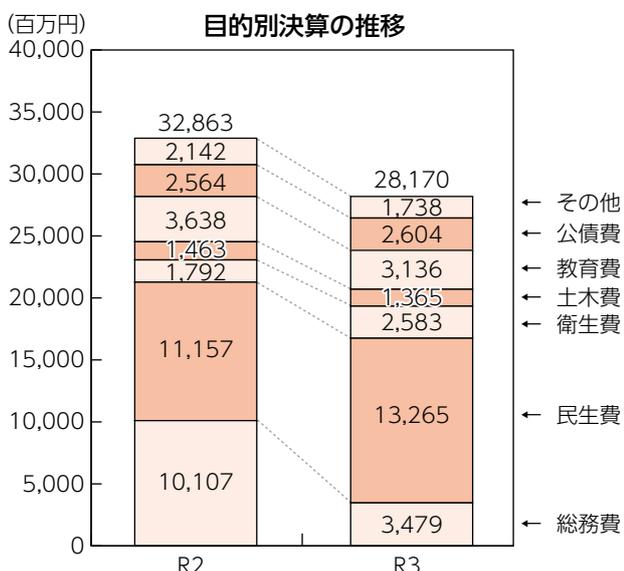
	R3 (A)	R2 (B)	(A) - (B)
市税	8,317	8,441	▲ 124
地方譲与税 他	2,125	1,808	317
地方交付税	4,776	3,853	923
分担金及び負担金	255	246	9
使用料及び手数料	354	340	14
国庫支出金	8,725	13,817	▲ 5,092
県支出金	2,042	2,062	▲ 20
繰入金	56	645	▲ 589
繰越金	1,373	721	652
市債	1,372	1,560	▲ 188
その他	1,256	743	513
<b>計</b>	<b>30,651</b>	<b>34,236</b>	<b>▲ 3,585</b>

## 歳出

新型コロナウイルス感染症の積極的な対策などにより民生費、衛生費などが増加しましたが、歳出全体は約46億9,300万円の減となりました。

令和3年度も引き続き新型コロナウイルス感染症対策として市民や事業者向けの各種緊急支援策を実施しましたが、令和2年度に実施した特別定額給付金事業やがんばろう令和支援金事業、GIGAスクール関連経費の減などにより、大幅に減額となりました。

また、中学校給食や老朽化した公共施設への備えとして基金への積立を大幅に増加しました。



性質別内訳 (単位:百万円)

	R3 (A)	R2 (B)	(A) - (B)
人件費	3,504	3,374	130
扶助費	9,415	7,378	2,037
公債費	2,604	2,564	40
普通建設事業費	1,330	2,011	▲ 681
災害復旧事業費	26	0	26
物件費	4,622	4,036	586
補助費等	2,977	10,409	▲ 7,432
積立金	848	325	523
繰出金	2,550	2,516	34
その他	294	250	44
<b>計</b>	<b>28,170</b>	<b>32,863</b>	<b>▲ 4,693</b>

※令和2年度の特別定額給付金事業は、本市の決算書では民生費に計上されていますが、決算処理上は総務費に分類されています。

# 市税収入と基金（貯金）と市債（借金）

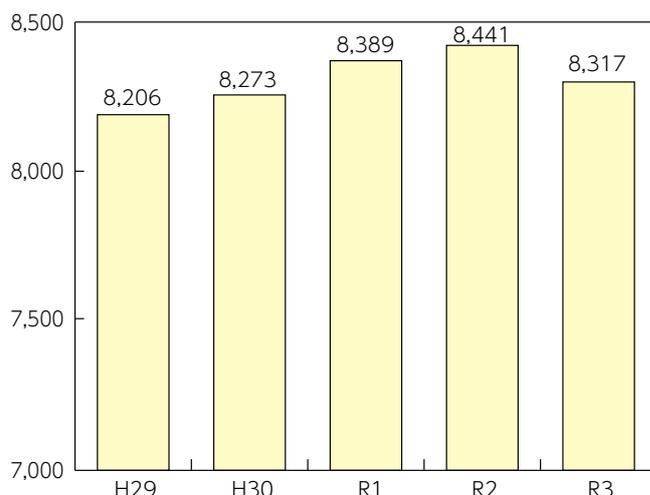
## 市税収入の推移

移住定住戦略による人口の着実な増加や起業支援、地場産業育成などにより市税収入は市民税を中心に着実に増加し、コロナ禍による大幅減収が予想された令和3年度も矢継ぎ早の積極的コロナ対策で減収幅を最小限に抑えました。

この結果、楠田市政一期目通算として平成29年度に比べ最大2億円以上の増収を記録するなど、財政体質を着実に強化しました。



市税収入の推移 (単位:百万円)



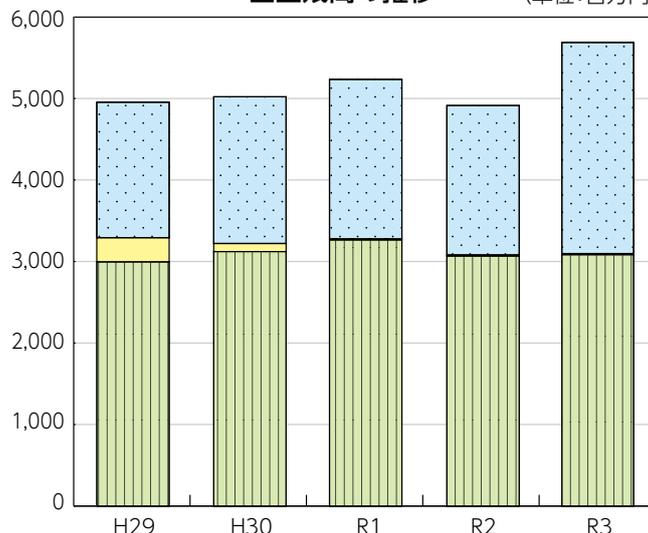
## 基金残高の推移

令和2年度は新型コロナウイルス感染症への対応などに基金を活用したことで減少しましたが、令和3年度は将来世代へ可能な限り貯えを残し災害対応など危機に備える方針のもと、基金に頼らない財政運営に努め、公共施設整備基金に約5億680万円、地域福祉基金に2億5,000万円の積み立てを行うなどし、基金（貯金）の残高は過去最高の約57億700万円となりました。

(単位:百万円)

	H29	H30	R1	R2	R3
財政調整資金	2,994	3,122	3,264	3,066	3,096
減債基金	298	99	13	13	13
その他	1,662	1,800	1,957	1,835	2,598
合計	4,954	5,021	5,234	4,914	5,707

基金残高の推移 (単位:百万円)



## 市債残高の推移

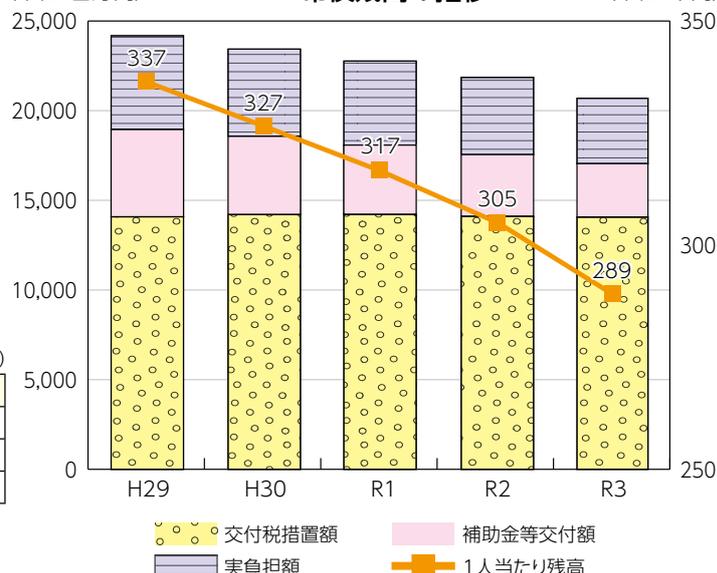
今後、老朽化した公共施設への対応が見込まれる中、将来世代へ可能な限りつけ回しをしない方針のもと新規発行の抑制に努め、市債（借金）の残高は、前年度より約11億6,000万円減少し、約206億9,400万円となりました。

市債残高は年々減少し、人口は増加傾向にあるため、1人当たり市債残高は一貫して減少しています。

(単位:百万円)

	H29	H30	R1	R2	R3
元金償還額	2,375	2,623	2,586	2,472	2,532
新規発行額	2,064	1,877	1,918	1,560	1,372
年度末残高	24,180	23,434	22,766	21,854	20,694

市債残高の推移 (単位:千円)



# 財政分析

## 健全化判断比率

健全化判断比率 (単位: %)

指標	太宰府市	早期健全化基準 (イエローカード)	財政再生基準 (レッドカード)
		実質赤字比率	-
連結実質赤字比率	-	17.78	30.00
実質公債費比率	2.9	25.0	35.0
将来負担比率	-	350.0	

資金不足比率 (単位: %)

指標	太宰府市	経営健全化基準 (イエローカード)
資金不足比率	-	20.0

財政健全化判断比率は、実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率の4つからなります。各比率には早期健全化基準と財政再生基準が設定され、基準値を超えた場合、「財政健全化計画」「財政再生計画」を定めなければなりません。

本市の財政健全化判断比率は左の表のとおりで、昨年度に引き続き健全な状態を維持しています。

なお、公営企業の経営の健全化を判断する指標として、「資金不足比率」がありますが、本市では、上下水道会計とも資金不足は発生していません。

※各指標については、赤字額や資金不足が発生していない場合は比率が算定されないため、表示は「-」となります。

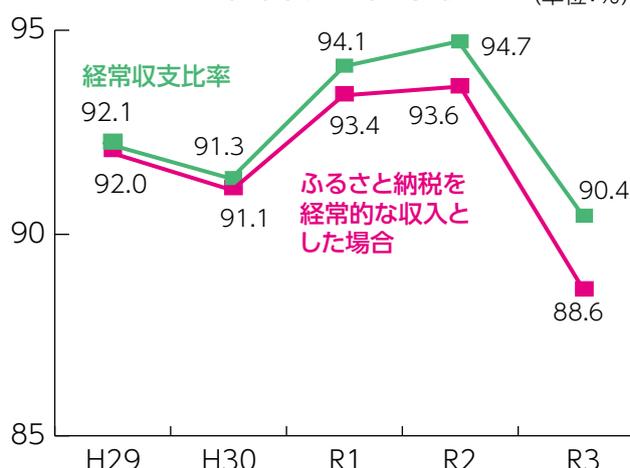
## 経常収支比率

令和3年度の経常収支比率は90.4%で、前年度の94.7%から4.3ポイント大幅に改善しました。主な要因として、歳入で市税収入減を最低限に抑え、普通交付税や地方消費税交付金が増加したことが影響しています。

大幅増収となったふるさと納税は臨時的な収入に位置づけられることから一般的には経常収支比率に算入されませんが、参考として繰り入れた数値も算出した場合、さらにその改善が顕著となります。

今後も歳出では、さらなる扶助費の増加や公共施設への投資などの大型事業に伴う市債の償還などにより厳しい財政運営が見込まれますが、更なる事業の見直しや工夫を図り、限られた財源のなかで効率的かつ効果的な事業実施に努めます。

経常収支比率の推移 (単位: %)



### よく分かる！用語集②

#### ●健全化法関係

実質赤字比率	一般会計などを対象とした実質赤字の標準財政規模に対する比率
連結実質赤字比率	全会計を対象とした実質赤字の標準財政規模に対する比率
実質公債費比率	一般会計が負担する公債費に、上下水道事業などの公営企業や一部事務組合などの元利償還金に充てる一般会計からの繰出金および負担金などを加えた経費の標準財政規模に対する比率
将来負担比率	一般会計などの地方債現在高、上下水道事業などの公営企業や一部事務組合などの元利償還金に充てる一般会計からの繰入見込額、全職員の退職手当支給予定額など、一般会計などが将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率
資金不足比率	公営企業における資金不足額（一般会計などの実質赤字に相当する額）の営業収益などに対する比率

#### ●経常収支比率

地方税、普通交付税のように用途が特定されておらず、毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）のうち、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当されたものが占める割合。